

平成30年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告書

砺波市及びその他の公共団体が設置する文化施設、生涯学習施設、花と緑に関する施設並びに散居村に関する施設等で、文化、芸術及び花と緑の振興により、市民の芸術文化活動、生涯学習活動及び花や緑を愛し、守り育てていく活動とともに、散居景観の紹介、保全及び創造並びに農村文化及び伝統文化を継承し、周辺地域を含む自然、人文及び社会の諸事象についての総合的研究を支援し、もって市民の教養と文化を高め、緑豊かな環境づくりと心豊かなまちづくりの推進及び地域社会の健全な発展に寄与するため、平成30年度事業計画に基づき次のとおり実施した。

1 公益目的事業1

(1) 砺波市文化会館事業

普及・鑑賞型事業、参加協働型事業、鑑賞型事業、育成・支援事業、広報・ホールメイト事業、文化交流事業及び共催事業を以下のとおり実施した。

① 普及・鑑賞型事業

公演名	期 日	内 容	備 考
富山県公立文化ホールネットワーク公演事業「ホールシネマ・イン・トヤマ」	8/26(日)	子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる映画を無料で上映した。 ①「ソング・オブ・ザ・シー 海のうた」 ②「最強のふたり」	入場者数 239人
布袋寅泰「HOTEL Live In Japan 2018 TONIGHT I'M YOURS TOUR supported by ひかり TV」	11/29(金)	稀代のギタリスト、布袋寅泰の日本ツアーの会場として北陸では当館のみ、砺波では初めてのライブ。演奏や舞台演出などのパフォーマンスは観客に好評で、満足度の高い公演となった。	入場者数 1,138人
富山県公立文化ホールネットワーク公演事業「新垣隆&奥村愛デュオリサイタル」	2/17(日)	ピアニスト・作曲家として評価の高い新垣隆と人気・実力のある奥村愛が持つ世界観に引き込まれた心地よい演奏会となった。新垣隆と出町小学校合唱クラブの共演も素晴らしく、子どもたちによい経験となった。	入場者数 354人

② 参加協働型事業

公演名	期 日	内 容	備 考
ワークショップ& コンサート ～フォルテピアノ とモダンピアノ～	5 / 12 (土)	モダンピアノ及びフォルテピアノの2台の音色や構造の違いを体験するとともに、演奏を楽しんだ。	参加者数 87人
合唱創造となみ事業	5 / 26 (土) ～ 3 / 17 (日)	合唱創造となみジュニアの団員や砺波市内の小学校合唱クラブ、中学校・高校の合唱部、社会人合唱団および一般公募の参加者を対象に、様々なワークショップを開催した。 また、3 / 17 (日) に小学生から大人まで総勢約250人がワークショップの成果を、世代を超えて発表するとともに、全国トップレベルのアマチュア合唱団「コンビーニ・ディ・コリスタ」を招聘し地元合唱団と共演する「となみの合唱祭Ⅱ」を開催し、好評を得た。	開催回数延べ 39回 参加者数 延べ2,205人 合唱祭入場者 984人
アレクサンダー・テクニック講座	1 / 20 (日)	吹奏楽部員、一般を対象としたクリニック講座。バジルクリッツァー講師により、受講生・聴講生が各々の課題を改善するための「気づき」を得ることができた。	講義回数 2回 参加者数 延べ201人
オリジナル ミュージカル 「ゴーストハウス」	3 / 2 (土)、 3 / 3 (日)	「となみミュージカルキッズを応援する会」と砺波市文化会館が協働して、地域で作るオリジナルミュージカルを企画制作した。落ちこぼれの子どもたちが、お化けとの交流の中で心が成長し、本当に大切なことに気づくというストーリー。	2回公演 1,762人

③ 団体鑑賞型事業

公演名	期 日	内 容	備 考
砺波市 こども芸術劇場	9 / 6 (木)	質の高い本物の芸術を鑑賞しすることにより情操を豊かにするために開催。砺波市教育委員会の助成を受け、市内の小学校3～6年生を対象に演劇の団体鑑賞を行った。 (劇団ポプラ「シンドバットの冒険」)	2回公演 1,863人

④ 育成型事業

公演名	期 日	内 容	備 考
チューリップパレード2018	4/30(月祝)	砺波地区の吹奏楽の振興と技術向上を目指しチューリップ公園でパレードを実施した。	参加団体 (小学生～高校) 16団体 参加者数 420人

⑤ 広報・ホールメイト事業

部門名	期 日	内 容	備 考
広報となみ	隔月 (奇数月号)	自主事業PR、催物案内を掲載2回	
メディア広報 (KNB)	毎月第1月曜	ラジオ番組にて、自主事業等PR:KNB でるラジ(電話出演4分)にて催物紹介。	12回
メディア広報 (FMとなみ)	隔週木曜、金曜	スクランブルとなみ(収録10分)にて催物紹介。	24回
ホームページ、 インターネット 広報事業	随時	会館のホームページを開設し随時自主事業PR等の情報発信など実施	
ホールメイト 事業	随時	会員を募集し、隔月で催事情報の送付、 主催事業5%割引、先行予約販売など実施、 催物案内5回送付	ホールメイト 149人

⑥ 共催事業

公演名	期 日	内 容	備 考
みて!あそんで! 影絵ワールドinとなみ チューリップフェア2018	4/20(金) ～ 5/5(土祝)	チューリップフェアの開催に併せ、劇団かかし座による、手影絵ショーや影絵体験、影絵人形づくりを、砺波市文化会館多目的ホールにて毎日開催した。	参加者数 延べ22,224人
NHK全国学校 音楽コンクール 富山県 コンクール	8/7(火) 8/8(水)	合唱を通して小学校、中学校、高等学校の児童・生徒の健全な成長と、豊かな感性を育てることを目的に開催した。	入場者数 延べ2,300人
2018夏まつり in 砺波チューリップ公園 「ふるさと盆おどり」	8/18(土)	盆踊りや民謡・民舞の継承とともに、砺波チューリップ公園の新たな魅力創出に繋げることを目的に、公園内みんなの広場にて盆おどりを実施した。	入場者数 約4,500人
松山千春コンサート・ツアー「ことば」	11/19(月)	全国16か所をめぐるツアーの一会場として開催、砺波では初めてのコンサート。公演開始から、歌とトークで観客を魅了し、観客には満足度の高い公演となった。	入場者数 1,134人
キラキラミッション 2018	12/1(土) ～ 12/25(火)	文化会館前に光のディスプレイを設置し、来館者および来園者を楽しませた。	来館者数 約80,000人

⑦ 支援型事業

公演名	期 日	内 容	備 考
砺波市文化協会・ 安城文化協会交流 事業	5 / 8(火) ～ 5 / 20(日)	砺波市文化協会と安城文化協会の市民文 化交流事業の支援を行った。 ・安城第50回美術展合同展	参加者数 5人

(2) 砺波市文化会館施設管理運営事業

① 施設利用状況

区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
		30 年度	29 年度	利用対比 H30/H29	30 年度	29 年度	利用対比 H30/H29
大 ホ ー ル	公益目的 利用日数	151 日	160 日	94.4%	人 53,478	人 65,043	% 82.2
	収益目的 利用日数	24 日	30 日	80.0%			
	利用日数 合 計	175 日	190 日	92.1%			
	利用率%	54.2%	59.0%	—			
そ の 他 (4 部 屋)	公益目的 利用日数	817 日	842 日	97.0%	人 14,475	人 15,618	% 92.6
	収益目的 利用日数	129 日	94 日	137.2%			
	利用日数 合 計	946 日	936 日	101.1%			
	利用率%	70.6%	69.6%	—			
合 計	利用日数	1,121 日	1,126 日	99.6%	人 67,958	人 80,661	% 84.2

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
平成30年度	0.865	0.135	
平成29年度	0.848	0.152	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 建築・設備機器の管理に万全を尽くすため、舞台機構、空調設備等の保守点検を実施、施設利用者の安全で快適な利用環境確保に努めた。

(3) 砺波市美術館事業

企画展事業、常設展事業、芸術文化活動支援事業、教育普及事業及び広報事業を実施した。

① 企画展事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
2018となみ チューリップフェア 特別展 岳父 小野竹喬と下保昭	4/20(金) ～ 5/20(日) (30日間)	小野竹喬の晩年に描いた「奥の細道句抄絵」の本画と下絵及び、砺波市出身で竹喬の娘婿である下保昭(1927～2018)の独自の感性で水墨画に新境地を拓いた大作とで会場構成し、約33点で両者の作品世界を紹介した。(企画展示室、常設展示室2)	46,169 人
松村外次郎記念 庄川美術館所蔵 熊谷守一の木版画展	4/20(金) ～ 5/5(土) (16日間)	2018チューリップフェア来場者を対象に松村外次郎記念庄川美術館所蔵の熊谷守一監修の木版画作品約32点を借用し、展示した。(市民ギャラリー)	
館蔵品展 第I期	5/26(土) ～ 6/10(日) (16日間)	となみ野大賞作品及び近年収蔵した作品を中心に44点を紹介した。 (企画展示室)	1,149
となみ野美術展2018 (第37回)	6/16(土) ～ 7/15(日) (30日間)	砺波地方の美術作家による総合美術展として、日本画21点、洋画23点、彫刻15点、工芸32点、書16点、写真19点、合計126点を展覧した。 となみ野美術大賞は彫刻部門の 「本日のメニューは、」(川田良樹) (全館)	2,507
郷土作家シリーズ14 堀田清塑造展	8/25(土) ～ 9/23(日) (29日間)	砺波市在住の彫刻家堀田清(1933～)の初期から現在までの女性像42点とデッサンを展示し、65年にわたる創作の軌跡を振り返った。また、市内に設置されているモニュメントを写真パネルで紹介した。 (企画展示室)	1,617
松尾敏男展	10/27(土) ～ 12/2(日) (37日間)	日本美術院展を舞台に活躍し、2012年に文化勲章を受章した日本画家松尾敏男(1926～2016)の初期から晩年までの作品62点と原画を描いた横綱白鵬関の化粧まわしで会場構成し、その画業を紹介した。 (企画展示室)	2,503
館蔵品展 第II期	1/5(土) ～ 2/7(日) (23日間)	当館が収蔵している元芸術院会員で洋画家清原啓一(1927～2008)の作品27点で特集展示を行った。 (企画展示室)	1,024
至高の精神展20 川原和美	2/2(土) ～ 3/3(日) (28日間)	至高の精神展は、多様な現代美術の分野で活躍している作家を紹介する展覧会。第20回目となる今回は、高岡市在住の造形作家川原和美さんの作品10点で紹介した。 (市民ギャラリー)	1,200

② 常設展事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
常設展	3 2 5 日間	<p>収蔵品の展示をテーマごとに常設展示室で順次展示公開した。</p> <p>常設1 工芸の秀作 館蔵品展(4/1~4/8) 工芸の秀作 館蔵品展(4/13~6/10) 工芸の秀作 館蔵品展(7/21~9/2) 工芸の秀作 館蔵品展(9/4~9/23) 工芸の秀作 館蔵品展(12/5~2/11) 工芸の秀作 館蔵品展(2/14~3/31)</p> <p>常設2 ロベール・ドアノー展(4/1~4/8) 下保 昭展 (4/13~6/10) 藤井宏展(7/21~9/2) 宇野登子展(9/4~10/21) 万谷晶子展(12/5~2/11) 秋山正太郎展(2/14~3/31)</p> <p>常設3 森村泰昌展(4/1~4/8) 洋画の世界 館蔵品展(4/13~6/10) 版画の世界 館蔵品展(7/21~9/2) 版画の世界Ⅱ 館蔵品展(9/4~10/21) ドアノーとラルティエグ展(12/5~2/11) 清原啓一展(2/14~3/31)</p>	7, 7 3 6

③ 芸術文化活動支援事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
第14回 砺波市美術協会会員展	4 / 1 (日) ~ 4 / 8 (日) (8日間)	<p>砺波市美術協会会員展。日本画16点、洋画25点、彫刻10点、工芸17点、書25点、写真12点の6部門105点での作品を展示した。</p> <p>(企画展示室、市民ギャラリー)</p>	5 1 9
第14回 砺波市美術展	9 / 2 9 (土) ~ 1 0 / 2 1 (日) (23日間)	<p>砺波市在住・在勤・在学者を対象とした公募展。日本画17点、洋画29点、彫刻7点、工芸16点、書43点、写真22点の6部門134点を展覧した。</p> <p>(企画展示室、常設展示室1・3)</p>	2, 9 1 1
第15回 砺波市美術協会会員展・ 安城文化協会交流展	3 / 9 (土) ~ 3 / 3 1 (日) (23日間)	<p>砺波市美術協会会員展と安城文化協会との交流展。砺波市美術協会日本画18点、洋画22点、彫刻7点、工芸17点、書25点、写真14点の6部門103点と安城文化協会15点の合計118点の作品を展示した。</p> <p>(企画展示室、市民ギャラリー)</p>	1, 1 8 7

④ 教育普及事業

名 称	日 数	内 容	入場者数 (人)
子どもの造形アトリエ	随 時 (延べ日数 47日間)	市内の小学校低学年、幼稚園・保育所の年長児を対象に、クラス単位で美術館に親しむ造形あそびなどの体験講座を開催した。	1,313
夏の子ども美術大会 2018	7/25(水) ～ 8/19(日) (展示期間は 16日間)	前半(7/25～8/2)にワークショップを開催し、そこで制作した作品を「子ども美術展(8/4～19)」と題し企画展示室で展示した。 (企画展示室、市民アトリエ)	1,242 (うち観覧者は956名、ワークショップ参加者286名)
講演会・ワークショップ	随 時 (延べ日数 28日間)	企画展に併せた講演会、ギャラリートーク等を開催し、美術の教育普及に努めた。	1,153
調査研究	年 間	美術情報の収集、調査、研究のほか、次年度の企画展の調査と準備を行った。	—

⑤ 広報事業

広 報	年 間	ポスターやチラシの配布、毎月発行の市広報、FMとなみ、ケーブルテレビ、美術館ホームページ、インターネットなどで情報発信を行った。	—
-----	-----	--	---

- ⑥ 砺波市美術振興事業資金を管理し、運用利益を市展の奨励に充て美術の振興に努めた。
 ⑦ となみ芸術文化友の会の活動を支援し、共同で公開コンサートなどの事業を開催した。
 ⑧ 建築・設備機器及び収蔵作品の管理に万全を期すため、空調設備の保守点検のほか清掃委託等を実施し、施設利用者の安全で快適な利用環境の確保に努めた。
 ⑨ 事業利用状況

区 分	利用日数			利用者数		
	30年度	29年度	利用対比 H30/H29	30年度	29年度	利用対比 H30/H29
企 画 展 示 室	日 235	日 293	% 80.2	人 60,828	人 62,345	% 97.6
常 設 展 示 室	325	330	98.5	7,736	6,997	110.6
市 民 ギ ャ ラ リ ー (自主事業単独使用)	28	29	96.6	1,200	1,021	117.5
市 民 ア ト リ エ (自主事業単独使用)	68	71	95.8	1,854	1,850	100.2
計				71,618	72,213	99.2

* 常設展示室・市民ギャラリーの日数・入場者人数の中にチューリップフェア期間中の数は含んでおりません。

(4) 砺波市美術館管理運営事業

① 施設貸与利用状況

区 分	利用日数			利用者数		
	30年度	29年度	利用対比 H30/H29	30年度	29年度	利用対比 H30/H29
市民ギャラリー	日 84	日 101	% 83.2	人 6,211	人 10,427	% 59.6
市民アトリエ	115	100	115.0	2,151	1,715	125.4
計				8,362	12,142	68.9

(5) 松村外次郎記念庄川美術館

企画展事業、芸術文化活動支援事業、教育普及事業、常設展事業等を以下のとおり実施した。

① 企画展事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
洋画 Sparkling! -2018 in 庄川展-	4 / 7(土)～ 5 / 13(日) (34日間)	個性豊かな絵画表現に努め、活躍を続けている県内在住の洋画作家の近作や新作73点を展示した。	1,113
砺波市書道連盟展	5 / 19(土)～ 5 / 27(日) (8日間)	砺波市書道連盟会員の作品45点を展示した。	208
藤森兼明展	6 / 2(土)～ 7 / 22(日) (44日間)	砺波市美術館、庄川美術館が所蔵する藤森兼明の油彩画ほか40点を展示した。	906
日本画燦々 -2018 in 庄川展-	9 / 1(土)～ 9 / 30(日) (26日間)	様々な表現で活躍をつづけている県内在住日本画家の近作、新作64点を展示した。	836
第8回 全国ろくろ木工芸展	10 / 13(土)～ 11 / 11(日) (26日間)	庄川を始め、全国各地の木地師たちの優れた作品80点を展示した。	501
かがやき☆はなが -2018 in 庄川展-	11 / 23(金・祝)～ 12 / 24(月・振休) (28日間)	様々な版画技法の表現で活躍を続けている県内在住版画作家の近作・新作61点を展示した。	373
松村外次郎展	1 / 12(土)～ 2 / 11(月・祝) (27日間)	当美術館が所蔵する外次郎の作品と交流作家の作品71点を展示した。	154

② 芸術文化支援事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
水きらら・人・花展	2/23(土) ～3/24(日) (26日間)	当美術館が主催する平成30年度実技講座参加者の絵画・彫塑・木彫作品72点を展示した。	454

③ 教育普及事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
第25回 中学生清流展	7/28(土) ～8/19(日) (23日間)	庄川河畔で開催した中学生写生会の絵を中心に公募し、入選ならびに入賞した作品100点を展示した。	821
実技講座	(11日)	地域住民のニーズに対応した生涯学習の場として、郷土作家を講師に迎え、実技講座を開催した。	627
調査研究	年 間	松村外次郎をはじめ郷土作家の調査研究、企画展・常設展の調査と準備を行った。	

④ 常設展事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
常設展示	4/1(日) ～3/31(日) (313日間)	松村外次郎の収蔵作品より大作・小品・絵画並びに交流作家・郷土作家の作品を展示(アプローチギャラリーは企画展毎に入れ替え)した。	5,964

⑤ 広報事業

広 報	年 間	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報、FMとなみ、ケーブルテレビ、美術館ホームページ、マスコミなどで情報発信を行った。	
-----	-----	---	--

⑥ 施設利用状況

項 目	利 用 日 数			観 覧 者 数		
	30年度	29年度	利用対比 H30/H29	30年度	29年度	利用対比 H30/H29
企画展	242日	249日	97.1%	5,366人	5,480人	97.9%
常設展	313日	313日	100.0%	5,964人	5,823人	102.4%
実技講座	11日	13日	84.6%	627人	635人	98.7%

(6) 庄川水資料館博物館事業

- ① 常設展示室では、「流木に生きた先人たち 流木と庄川」として、流木作業に携わった流送夫や船頭たちの生活や仕事の様子について展示し、企画展示室では、「川を治め、川を利す 庄川を生きる」のテーマを設け、ふるさと庄川と共に生きた人々の生活資料や、治水・利水・流送などの資料や模型を展示している。また、松原遺跡で発掘された土器などの資料も展示し、人々の暮らしを支えてきた庄川の歴史を学びながら楽しめる場を提供した。
- ② 通路壁面を利用したミニギャラリーにおいて、手操明子版画展、橋本文良版画展、中学生清流展作品展、稲垣朋子洋画展など美術館と連携した企画展を開催し、資料館、美術館ともに見ていただけるよう努めた。

展覧会名	会期 (日数)	内容	入場者数 (人)
手操明子 版画展	4/14(土) ～5/27(日) (40日間)	高岡市在住の版画家・手操明子の作品36点を展示した。	747
橋本文良 版画展	6/9(土) ～7/8(日) (26日間)	魚津市在住の版画家・橋本文良の作品115点を展示した。	444
中学生清流展作品展	7/21(土) ～8/19(日) (29日間)	庄川美術館収蔵作品より平成18年中学生清流展の作品8点を展示した。	820
伊藤雅樹 陶芸展	9/15(土) ～10/14(日) (26日間)	高岡市在住の陶芸家・伊藤雅樹の作品47点を展示した。	251
稲垣朋子 洋画展	11/10(土)～ ～12/9(日) (26日間)	砺波市在住の洋画家・稲垣朋子の作品13点を展示した。	418
松村外次郎彫刻展	1/12(土)～ ～2/11(月・祝) (27日間)	庄川美術館所蔵の松村外次郎の彫刻作品30点を展示した。	72

③ 施設利用状況

施設名	利用日数			観覧者数		
	30年度	29年度	利用対比 H30/H29	30年度	29年度	利用対比 H30/H29
庄川水資料館	313日	313日	100.0%	3,365人	3,723人	90.3%

(7) 庄川水資料館施設貸与事業

① 映像ホール利用状況

年 度	開 催 日 数	映像ホール貸与日数
平成30年度	313日	0日
平成29年度	313日	0日

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
平成30年度	1.00000	0.00000	
平成29年度	1.00000	0.00000	

※貸与日数と各施設免責の積数による。

(8) 庄川生涯学習センター事業

- ① 施設の特徴を生かし、公民館連絡協議会や市PTA連絡協議会等の協力を得て、日本の伝統芸能や最近話題の映画を鑑賞する機会を提供した。

公演名	期 日	内 容	備 考
林家たい平独演会	5/20(日)	真打林家たい平の落語独演会を開催し 古典落語を堪能した。	入場者数 264人
富山県公立文化ホールホールネットワーク事業 庄川名画祭	7/26(木) 7/27(金)	「怪盗グルーのミニオン大脱走」を庄川 4保育所及び庄川小学校等放課後児童 クラブ登録者、市内の親子が鑑賞し た。	入場者数延 528人
富山県公立文化ホールホールネットワーク事業 琵琶と箏と影絵 でつづる 「今様 赤頭巾」	10/14(日)	県内在住の芸術家の参画による、影絵 に和楽器「琵琶」「箏」「うた語り」を 加えた演出でスパイスの効いた大人な 雰囲気の今様「赤頭巾」を楽しんでもら った。	入場者数 138人
富山県公立文化ホールホールネットワーク事業 庄川名画祭	12/8(土)	「武士の家計簿」を市内外の一般者が鑑 賞した。	入場者数延 238人

② 広報事業

広 報	通 年	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報、 ホームページ、ケーブルテレビ、マスコミなど を通じて情報発信を行った。
-----	-----	---

(9) 庄川生涯学習センター施設貸与事業

① 施設利用状況

施設名	区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
			30 年度	29 年度	利用対比 H30/H29	30 年度	29 年度	利用対比 H30/H29
庄川生涯学習センター	多 目 的 ホ ー ル	公益目的 利用日数	91 日	81 日	112.3%	9,438 人	10,323 人	91.4%
		収益目的 利用日数	14 日	17 日	82.4%			
		利用日数計	105 日	98 日	107.1%			
		利 用 率	35%	33%	—			
	そ の 他 (7 部 屋)	公益目的 利用日数	415 日	400 日	103.8%	21,172 人	22,552 人	93.9%
		収益目的 利用日数	174 日	183 日	95.1%			
		利用日数計	589 日	583 日	101.0%			
		利 用 率	28%	28%	—			
	合 計	利用日数	694 日	681 日	101.9%	30,610 人	32,875 人	93.1%
		利 用 率	29%	28%	—			

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
平成30年度	0.797	0.203	
平成29年度	0.769	0.230	

※利用日数と各施設面積の積数による。

②施設・設備機器の保守管理に万全を期し、施設利用者の安全で快適な利用環境の確保に努めた。

2 公益目的事業2

(1) 第67回砺波チューリップフェア事業

① 総括

2018となみチューリップフェアは、「チューリップ薫る 新たなステージへ」をテーマに4月20日（金）から5月5日（土・祝）までの16日間開催しました。

チューリップの開花状況については、近年になく大雪であったものの3月に入ってからの急激な気温の上昇で開花が早まることが心配されたため、3月22日から4月15日までの25日間、遮光ネットを施したことにより、例年になく順調な開花調整ができました。

しかし、遮光ネットの撤去後も気温の高い日が続き、チューリップの生長が日々進んだことから、4月27日の朝に会場内のチューリップが満開となり、5月5日の最終日では、一部のチューリップの花びらが落ちるものもありましたが、開催期間を通して色とりどりのチューリップが来場者に癒やしを与えました。

期間中の来場者は、ゴールデンウィーク後半の天候が不安定であったことから、29万3千人となり、昨年に比べて3万人の減少となりました。

近年、ゴールデンウィークの休日には、入場のチケット販売と開門時間の前に、各販売所及び門の双方で長蛇の待ち列が生じていたことから、今回、新たに入場チケットの販売開始時間を30分繰り上げたことにより、チケット販売所における待ち時間が解消されました。

また、来場者に人気のあるチューリップタワーや花の大谷では、待ち時間が30分以上となる日があったことから、大道芸人によりジャグリングなどで来場者を和ませました。

このほか、スタンプラリー参加者へのプレミアムグッズとして、新たに製作した「チューリップ型ペットボトル・キャップ」をプレゼントしたところ、「かわいい」などの好評を博したことから、期間中の16日間に22,000人（H29：12,000人）の参加がありました。

さらに、（一社）砺波市観光協会においては、団体向けに15分早めに入場できる旅行商品を試行的に実施したところ、「静かで待ち時間なく観賞できる」と好評であったことから、今後、お得感のある旅行商品としての提供を検討することとしています。

② 花壇、展示

花壇、展示	内容
大花壇	「チューリップ薫る 新たなステージへ」のテーマに基づき、21万本のチューリップで花のブーケを描いた。
彩りガーデン	富山県で生産されている全ての品種を集めた花壇を四季彩館前に設置した。また、気に入った品種は予約販売所で求められるようにした。
花の大谷	雪の大谷をイメージしたチューリップの回廊「花の大谷」に滝を設け、立山連峰の豊富な雪解け水を表現した。また、会期前半と後半で彩りを変化させて、雪解けから春のイメージを創出した。
イリュージョンアートガーデン	メインゲート（北門）の先にある来場者を歓迎するディスプレイとして、来場記念の写真スポットとともに、会場内にある「驚き」と「発見」に期待が高まる花壇を設置した。
水上花壇	砺波で発案された花壇で、新たに展望スペースを設け、少し高い位置からハート型等に形作られた色とりどりのチューリップが風に吹かれて揺れる様子を見られるようにした。
トリック花壇	東門付近に、湾曲した鏡にトリックアートを映し出す不思議な花壇を設置した。
I LOVE 花壇	ハート型の花壇と、縁結びの神様「こいっぴ」のチューリップバージョンを展示するなど、写真を撮れるスポットを設置した。
オランダ風花壇	ダブルデッカー（2段植え）、トリプルデッカー（3段植え）などのオランダ・キューケンホフ公園で見られる手法を取り入れた花壇として人気が高かった。

チューリップ ファーム (チューリップ畑)	4月20日から24日までシャトルバスを運行し、来場者への利便性を図った。
チューリップ 花さじき	市内各地区の緑花団体の協力を得て、チューリップをゆっくり鑑賞していただけるよう美術館前に花いっぱい「さじき席」を設置した。今回の花さじきは、美術館3階の展望室から眺めると、赤いチューリップの花が見えるよう配置した。
チューリップ 四季彩館	常設展では、香りのあるチューリップを展示して香りを楽しんでいただく「ワンダーアロマガーデン」を開催した。 春季特別企画展「チューリくん自慢のコレクション展」では、チューリくんの家を配置し、家の前に広がる花壇で黒いチューリップや縞模様が入ったチューリップを展示したほか、ロイヤルコレクションとして、2017年度チューリップ球根の皇室献上品種の展示や切花品評会を行った。
その他施設展示	<ul style="list-style-type: none"> ・砺波市文化会館「みて！あそんで！影絵ワールド」 ・砺波市美術館「岳父 小野竹喬と下保昭」 ・砺波郷土資料館「となみの花よめさん」 ・旧中嶋家「お茶おもてなし」 ・富山県花総合センター「びっくり水族館」

③ ステージ・文化会館イベント

日時・期間	イベント名	実施場所
4/20(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・開会式 ・富山県警音楽隊コンサート 	野外ステージ
4/21(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・走れ！ミニ列車 	大花壇通路
4/22(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・走れ！ミニ列車 ・2018プリンセスチューリップ表彰式 ・第44回富山県太鼓打ち競技会 	大花壇通路 みんなの広場 文化会館
4/28(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊コンサート（陸上自衛隊第10音楽隊） 	文化会館ホワイエ
4/29(日祝)	<ul style="list-style-type: none"> ・越中民謡のしらべ ・チューリップ踊り 	野外ステージ
4/30(月振)	<ul style="list-style-type: none"> ・エフエムとなみラジオ公開放送 ・チューリップパレード 	野外ステージ 園内
5/3(木祝)	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャズコンサート ・出町子供歌舞伎曳山特別公演 	野外ステージ 文化会館大ホール
5/4(金祝)	<ul style="list-style-type: none"> ・フラダンス ・交流都市観光PR展 	野外ステージ みんなの広場
5/5(土祝)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニロボットとあそぼ（砺波工業高校） ・となみミュージカルキッズ ・砺波高校吹奏楽コンサート ・砺波工業高校吹奏楽コンサート 	みんなの広場 野外ステージ 野外ステージ 野外ステージ

④ 連携イベント

日時・期間	イベント名	人数（人）
4/20（金） ～5/5（土祝）	新屋敷芝桜まつり	4,500
4/21（土）	高波チューリップまつり	500
4/28（土） ～29（日祝）	TONAMI ism 2018	6,000
4/29（日祝） ～30（月振）	出町子供歌舞伎曳山祭	13,000
4/29（日祝） ～30（月振）	せんだん山水仙そばまつり	3,700
5/3（水祝） ～4（木祝）	庄川木工まつり	11,000

（２）花と緑の振興事業

花と緑の振興を図るため、次のとおり事業を実施した。

① 企画展示

花と緑の普及啓発のため、特別企画展として春季は「チューリくん自慢のコレクション展」、夏季はキッズ企画の「ドラゴンボール超(スーパー) 修業チャレンジ!～悟空を目指して強くなろう!～」、冬季は第33回春を呼ぶチューリップ展を開催した。

また、小企画展として「第23回押花展」「秋を彩るハンギングバスケット展」「チューリップ四季彩館スクール作品展」等を開催した。

ア 特別企画展実施報告

名称	会期 (日数)	内容	人数 (人)
春季特別企画展 「チューリくん自慢の コレクション展」	4/13(金) ～ 5/5(土・祝) (23日間)	砺波市のシンボルキャラクター「チューリくん」の家の前に広がる花壇に、黒いチューリップと花びらに縞模様入るチューリップをメインに展示した。あわせて、平成29年秋に砺波市が皇室献上したチューリップの紹介とチューリップの切り花品評会を実施した。	2,519 ※フェア期間除く
夏季特別企画展 「ドラゴンボール超 (スーパー) 修業チャ レンジ!～悟空を目指 して強くなろう!～」	7/20(金) ～ 9/2(日) (45日間)	夏休み期間に家族で楽しめる企画として実施した。光ったボタンを瞬時に押さえて反射神経を鍛えるなど、6つの修業アトラクションを通してドラゴンボールの世界が体験でき、その結果によりランクの認定書が配布される企画であった。記念撮影スポットやグッズ販売の売上げも好調であった。	13,451

<p>秋季特別企画展 「第17回となみチューリップ球根まつり」</p>	<p>10/5(金) ～ 10/8(月・祝) (4日間)</p>	<p>球根産地砺波をPRするイベントとして、県産球根100品種以上を販売した。全品通常価格の2割引きとし、セット商品として皇室献上品種セットや福袋を用意した。チューリップの寄せ植え体験や新たな企画の3,000円以上お買い上げで1回できるガラポン抽選会は好評であった。</p>	<p>12,000</p>
<p>冬季特別企画展 第33回春を呼ぶ チューリップ展</p>	<p>2/4(月) ～ 2/24(日) (21日間)</p>	<p>促成栽培で咲かせた1万本のチューリップと早春の花々を展示し、バレンタインをイメージした展示を行った。 あわせて、砺波産切花PRや切花のラッピング体験を行うとともに、ミニSLに乘車しながら展示を観覧できる内容にした。 また、開会式に出席された方々にチューリップの切花をプレゼントした。</p>	<p>5,070</p>

イ 小企画展実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容
「春を彩るハンギング バスケット展」	4/20(金) ～ 5/5(土・祝) (16日間)	ビオラやゼラニウムなど春の花々を使ったハンギングバスケットを展示した。 (風車前広場)
「初夏を彩るコンテナ ガーデン展」	5/25(金) ～ 6/3(日) (10日間)	ペチュニアやペラルゴニウムなどを使用した寄せ植えを展示した。 (ワンダーガーデン)
「香りのハーブ展」	6/15(金) ～ 6/24(日) (10日間)	バジルやローズマリー、セージなど色々なハーブを展示した。 (屋外展示場)
「いろいろな ペチュニア」	7/6(金) ～ 7/29(日) (24日間)	色や形に特徴のあるペチュニアを集め展示した。 (屋外展示場)
第23回押花展	8/3(金) ～ 8/26(日) (24日間)	ふしぎな花倶楽部本部講師の東昌子氏の押花作品約10点を展示した。 (2階セミナールーム)
秋を彩るコンテナガ ーデン展	9/7(金) ～ 9/30(日) (24日間)	コリウスやサルビアなど秋の花々を使った寄せ植えを展示した。 (ワンダーガーデン)

秋を彩るハンギングバスケット展	10/5(金) ～ 10/13(土) (9日間)	日本ハンギングバスケット協会北陸支部の協力により、ハンギングバスケット15点を展示した。 (風車前広場)
いろいろな多肉植物	11/9(金) ～ 11/25(日) (17日間)	秋になると紅葉するものや肉厚な葉をもつユニークな多肉植物を展示した。 (ワンダーガーデン)
四季彩館スクール合同作品展	11/30(金) ～ 12/9(日) (10日間)	花の和紙ちぎり絵、三助焼陶芸、水引あそびのお花たちコースの受講生の作品を展示した。 (2階セミナールーム)
早春を彩る花々	1/11(金) ～ 1/20(日) (10日間)	春を呼ぶ花として親しまれているプリムラをはじめ、エリカやスイセン、ヒアシンズなどの寄せ植えを展示した。
クリスマスローズ展	2/1(金) ～ 2/11(月) (11日間)	花の色や形など様々なバリエーションのある魅力的なクリスマスローズを展示した。
球根植物のいろいろ	3/1(金) ～ 3/17(日) (17日間)	原種のチューリップをはじめ、アネモネやラナンキュラスなどいろいろな球根植物を展示した。

② 花と緑に関する教室、講演会の開催

花と緑に親しみ、楽しむため花と緑に関する教室及び講演会を開催した。

ア 教室実施報告

1) 園芸教室

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花と緑のコース [全10回]	10	草花の土作りや防除について、園芸の基礎を学ぶ教室を開催した。	9
ハンギングバスケットコース [午前・午後 全10回]	5	季節のハンギングバスケットを作成する教室を開催した。	30

2) フラワーアート講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花の和紙ちぎり絵 初級コース [全5回]	5	バラやリンドウなどの花をデザインしたちぎり絵を作製する教室を開催した。	8
花の和紙ちぎり絵 中級コース [全5回]	5	花や植物、自然をテーマにしたちぎり絵の大作を作製する教室を開催した。	12
三助焼陶芸コース [全5回]	5	三助焼で花器を作成する講座を開催した。	13
水引あそびの お花たちコース [全7回]	7	日本の伝統工芸である「水引」を用いて花を作成した。	6

3) 特別講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
楽しいキク作りコース [全8回]	8	キク苗の定植、剪定、夏に向けての管理など季節ごとの手入れについて学ぶ講座を開催した。	28

イ 講演会の開催

花と緑の推進と普及を図るため「花と緑の講演会」を開催した。

演 題 「バラ選びのコツと庭で楽しむアイデア」 10月13日（土）

講 師 河合伸志氏（育種家）

場 所 四季彩館チューリップホール

参加者数 150人

③ 情報の発信

広報となみにおいてチューリップ四季彩館における特別展や常設展、園芸講座等に関する情報を掲載した。

④ 緑花に関する事業の推進

市内公共施設や各地区の緑花推進協議会、協定地域へ花苗の配布、地域の花づくり推進補助を行い、地域緑花を推進した。

私たちの夢花壇（市民参画花壇）及び砺波市花と緑のコンクールを行い、緑花意識の高揚に努めた。

砺波花とみどりの少年団や砺波嵐山桜保存会の活動支援を行った。

砺波駅周辺や砺波インターチェンジ付近、庄川ふれあい花街道などにおいて、市街地活性化も含めて緑花推進を図るため、花や樹木の植込み及び維持管理を行った。

花と緑の銀行機関紙等に市内の緑花活動に関する紹介を行うなど、花と緑の砺波市をPRした。

砺波市保存樹等保全委員会を開催するとともに委員研修を行った。また砺波市内の保存樹等見学ツアーを実施した。

(3) チューリップ四季彩館の管理運営

① 施設の管理

指定管理者として、チューリップ四季彩館の施設管理を適正に行った。年間を通じて展示スペース及びホールの施設管理を行い、照明設備や空調設備、消防設備点検を実施するとともに、屋根の塗装や照明灯修繕など施設維持管理を行った。

施設利用状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

区 分	展 示 室 ※うち台湾利用者数	特別企画展示	ホール利用
利用 者 数	54,107人 ※6,812人	33,040人	26,286人

② 常設展示の企画、運営

年間テーマを「百花繚乱」とし、チューリップパレスのチューリップ展示とともに、季節の花々の展示を行った。

常設展示実施報告

テ ー マ	期 間
百花繚乱～春～	3/29(木)～ 5/8(火)
百花繚乱～初夏～	5/10(木)～ 6/12(火)
百花繚乱～夏～	6/14(木)～ 7/17(火)
百花繚乱～盛夏～	7/20(金)～ 9/18(火)
百花繚乱～秋ハロウィン～	9/21(金)～ 10/31(水)
百花繚乱～クリスマス～	11/3(土)～ 12/25(火)
百花繚乱～新春～	12/27(水)～ 1/22(火)
百花繚乱～早春～	1/24(木)～ 3/26(火)

③ 展示植物の育成

四季彩館で栽培した植物を館内装飾として活用し、花展示の充実を図った。

④ 展示花壇及び植栽の管理等

四季彩館周辺樹木や彩り花壇などの植栽管理を行った。また、屋外展示場でも季節の花々の展示を合わせて行った。

⑤ 四季彩館への誘客及び広告宣伝事業の実施

チューリップ四季彩館及びチューリップフェアへの台湾観光客の招客を図るため、県内観光業者と連携し台湾に出向して、誘客活動を実施した。そのほか、インドネシアや香港など東南アジアに向けての誘客活動も実施した。

ホームページに、チューリップフェア専用バナーを設けて情報発信するとともに、フェアの動画（You Tube）、写真などの多様な機能を充実させた。また、英語、中国語（繁体字）のページにより、国外のお客様の誘客と情報発信に努めた。

四季彩館及びチューリップフェアへの誘客のために、動画DVD（日本語、中国語）や写真CDを活用し関係機関に配布するなどPRに努めた。

四季彩館の展示内容やフェア期間中におけるチューリップの開花情報等をブログ、Instagram、facebook、LINE等のSNSを通じて公開し、積極的に情報提供の充実と誘客を図った。

⑥ 四季彩館の利用促進の実施

四季彩館の利用促進のため、結婚記念撮影やテレビ撮影、ラジオ収録に協力するなど、情報発信に努めるとともに、年間パスポート会員の募集を積極的に行った。

砺波市観光協会ショップやカフェかくれ庵と連携し、新商品の情報などホームページや広報となみに掲載し、四季彩館の魅力発信を行った。

また、チューリップホールを積極的にPRし、利用促進を図った。

（４）チューリップ公園等の管理運営

公園施設及び植栽の管理

指定管理者として、チューリップ公園（約69,700㎡）、フラワーロード（約2,900㎡）、フラワーフロンティアエリア（約2,800㎡）及びその周辺の施設や植栽の管理を適正に行った。

特に、チューリップフェアの開催前には、作業員の人数を増やすなど管理を強化した。

また、チューリップ公園の通年利用と活性化を目的として、サマーフェスティバル、KIRAKIRAミッションなどのイベント開催に協力し、連携に努めた。

そのほか、毎月第2・第4木曜日を「公園清掃美化の日」と定め、財団職員による清掃活動を行った。

（５）富山県花総合センターの管理運営

① 施設の管理

指定管理者として、富山県花総合センターの施設管理を適正に行った。温室や本館施設の設備点検及び消防設備点検を行うとともに、園内花壇や温室の管理を行った。

② 花まつり、講座等の実施

ア 花まつり等実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容	人 数 (人)
チューリップフェア 特別展示 「びっくり水族館～多肉 植物でつくる海の生き物 ～」	4/13(金) ～ 5/5(土祝) (22日間)	「びっくり水族館」をテーマに多肉植物を使ったトピアリー(植物を人工的・立体的に形づくる造形物)や、形が海の生き物にそっくりな多肉植物を使い、水族館の雰囲気表現した。また、研修室では、平成29年度県民緑花カレッジの受講生及び講師による植物スケッチの作品約30点や、富山県農林水産総合技術センター園芸研究所作出のチューリップ品種などを展示した。	27,000
初夏を彩る花まつり 2018 「庭で楽しむベリー類」	6/8(金) ～ 6/10(日) (3日間)	「庭で楽しむベリー類」をテーマに、家庭でも簡単に楽しめる果樹として近年人気のブルーベリーやジューンベリー、ラズベリーなどベリー類とインパチェンスをはじめとした季節の草花で展示ホールを彩った。研修室では、日本原産で世界中に広まった植物であるギボウシ(学名および英名:ホスタ)70品種を展示した。	3,500
秋を彩る花まつり 2018 「サルビアの仲間たち」	10/12(金) ～ 10/14(日) (3日間)	「サルビアの仲間たち」をテーマに、秋の訪れとともに色鮮やかさを増す南米原産のサルビアを中心とした草花で展示ホールを華やかに彩った。また、季節を感じていただくため欧米の秋の行事である「ハロウィン」のカボチャや魔女などの飾り付けや、仮装体験コーナーを設けた。研修室では、平成30年度県民緑花カレッジ講座「花をきれいに撮る」コース受講生による作品と、研修生(南砺福野高校インターンシップ、砺波市立出町中学校14歳の挑戦)によるプリザーブドフラワーアレンジ作品を展示した。	5,000

<p>早春を彩る花まつり 2019 「春咲き球根のいろいろ」</p>	<p>2/15(金) ～ 2/17(日) (3日間)</p>	<p>春を先取りして花を咲かせたチューリップやラナンキュラス、アネモネ、フリージアなど様々な球根植物を中心とした120品種3,000株の花々で展示ホールを彩った。 また、研修室では、促成栽培で開花させた170品種のスイセンや花育キッズ「チューリップのおひなさま」作品を展示したほか、鉢花販売コーナーとして、本館入口付近にて、とやま鉢花生産者組合がアネモネやラナンキュラス、クリスマスローズなどの鉢花を販売した。</p>	<p>2,500</p>
--	--	---	--------------

イ 季節展示報告

名称	会期 (日数)	内容
「キク科の花(春)」	<p>3/9(金) ～ 4/9(月) (31日間)</p>	<p>卒業式シーズンに合わせて富山県内でも多く栽培されているサイネリアや、ユリオプス‘ゴールドクラッカー’ミヤコワスレなどの春に咲くキク科の花をリボン花壇状に展示した。また、ツバキやレンギョウ、ジュウガツザクラ、ユキヤナギの枝にイースターエッグを配したアレンジメントを設置した。</p>
「ゼラニウム」	<p>5/11(金) ～ 6/3(日) (23日間)</p>	<p>花の美しさを楽しむゾーナル系やアイビー系のゼラニウムのほか、葉の縁取りや中心に模様が入る斑入り葉のものや、葉や茎に香りがありハーブとしても親しまれているセンテッドゼラニウムを展示した。</p>
「インパチェンス」	<p>6/15(金) ～ 7/8(日) (23日間)</p>	<p>夏の花壇を彩る草花として人気があり、アフリカホウセンカの和名で親しまれているインパチェンス20品種を立体的に展示した。</p>
「小さな植物で楽しむジオラマ」	<p>7/13(金) ～ 9/9(日) (58日間)</p>	<p>多肉植物を使ったジオラマのディッシュガーデンやエアープランツ、人気のインテリア「ハーバリウム」を展示した。</p>
「アガベとアロエの仲間」	<p>9/14(金) ～ 10/8(月祝) (24日間)</p>	<p>中南米原産で姿形の面白さで人気のアガベと、南アフリカ原産で見た目の面白さから注目されているアロエの仲間を展示した。展示に合わせて、特徴や栽培のコツをパネルで掲示した。</p>
「スプレーマム」	<p>10/26(金) ～ 11/18(日) (23日間)</p>	<p>従来のキクのイメージを一新するおしゃれでバラエティ豊かな南砺園芸植物園で育成されたスプレーマム21品種を展示した。</p>

「クリスマス(シクラメン)」	11/23(金祝) ～ 12/24(月振休) (31日間)	県内の鉢花生産者が育てたシクラメン60品種800鉢を品種ごとに展示した。また、高さ5mのクリスマスツリーを、トナカイのオーナメントとクリスマスカラーである赤とゴールドのボールオーナメント1300個とリースやリボン飾り、1600球の電飾等で華やかに彩った。
「お正月(ハボタン)」	1/4(金) ～ 1/14(月祝) (10日間)	紅白のハボタン850鉢で亥の絵を模り、商売繁盛の縁起木として江戸時代から好まれているマンリョウ(万両)、センリョウ(千両)、カラタチバナ(百両)、ヤブコウジ(十両)、長寿や繁栄の象徴として貴ばれるナンテン(南天)やオモト(万年青)などの春を呼ぶ吉兆の植物100鉢でお正月を彩った。また、会場内では、東北地方のお正月飾りに使われる「ふなせんべい」や餅花の飾り、松やナンテン、センリョウなどの切花を使ったお正月アレンジと、凧や扇子、羽子板などの装飾でお正月を演出した。
「プリムラ」	1/19(土) ～ 2/11(月祝) (23日間)	バレンタインデーに近いことにちなんで、プリムラ・ジュリアンを使ってハート型をかたどった花壇や、プリムラ・ポリアンサを使ったハート型のフレームなど、色とりどりのプリムラ30品種1,350鉢を中心に展示した。また、様々なハートのオブジェを「無言の愛」の花言葉を持つピンクの色のプリムラ・ポリアンサや「お似合いの二人」の花言葉を持つデンファレなど、愛にちなんだ花言葉を持つ花々で彩り、写真スポットとして楽しめるよう工夫した。
「サイネリア」	3/9(土) ～ 4/14(日) (36日間)	卒業式シーズンに合わせて富山県内でも多く栽培され、栽培農家独自の品種も生まれているサイネリアを主に、チューリップやクリスマスローズを加え、立体的に展示した。

③ コンテスト・講座等事業
ア コンテスト

名称	会期 (日数)	内容	人数 (人)
第9回 コンテナガーデン コンテスト	5/20(日) ～ 6/10(日) (21日間) [植込日 : 5/20] [審査日 : 6/4] [表彰式 : 6/9]	県民の緑花意識の向上と花の普及を目的として、コンテナガーデンの腕前(デザイン・管理など)を競うコンテストを実施した。50人の参加者が県内の生産者が育てた花苗25種類1000鉢の中から8鉢を選び、指定のコンテナに植え込み、約2週間後の審査を経て「初夏を彩る花まつり2018」最終日まで管理を行った。	50

イ 県民緑花カレッジ講座

名 称	月 日	内 容	延べ人数 (人)
フラワーアレンジメント 基礎コース	4 / 7 (土) 9 / 29 (土) 12 / 24 (月祝) 3 / 23 (土)	バラやガーベラ・ジニアのプリザーブド フラワーを使ったフレーム時計、プリザ ーブドフラワーを使ったハロウィンの フラワーリース、生花を使ったお正月の アレンジメントの基礎を学ぶ。 [全4回]	48
フラワーアレンジメント 応用コース	4 / 7 (土) 9 / 29 (土) 12 / 24 (月祝) 3 / 23 (土)	バラやガーベラ・ジニアのプリザーブド フラワーを使ったフレーム時計、プリザ ーブドフラワーを使ったハロウィンの フラワーリース、生花を使ったお正月の アレンジメントの応用を学ぶ。 [全4回]	60
山野草を楽しもう	5 / 19 (土) 6 / 16 (土) 7 / 21 (土) 9 / 22 (土)	山野草の育て方、季節の寄せ植えと管理 方法を学ぶ。 [全4回]	52
洋ランを育ててみよう	5 / 12 (土) 7 / 14 (土) 9 / 8 (土) 11 / 3 (土)	コチョウランの年間管理・ランの栽培管 理について学ぶ。 [全4回]	76
季節の寄せ植えづくり	5 / 27 (日) 10 / 7 (日) 12 / 16 (日) 2 / 3 (日)	季節ごとの寄せ植えの作り方とその管 理について学ぶ。 [全4回]	96
はじめてのバラづくり	6 / 3 (日) 7 / 15 (日) 9 / 2 (日) 11 / 25 (日)	新苗からのバラの育て方について学ぶ。 [全4回]	88
花をきれいに撮る	4 / 24 (火) 5 / 29 (火) 6 / 19 (火)	チューリップやバラなど園内に咲く花 を撮影し、どのように作品作りをするか について学ぶ。 [全3回]	17
植物スケッチⅠ	5 / 27 (日) 6 / 10 (日) 6 / 24 (日) 7 / 8 (日)	園内の花木など屋外の季節の花や植物 のスケッチなどの植物図の講座を行っ た。 [全4回]	36
植物スケッチⅡ	1 / 27 (日) 2 / 10 (日) 2 / 24 (日) 3 / 10 (日)	展示温室に咲く洋ランなど季節の花の 植物図の描き方の講座を行った。 [全4回]	56

ウ 県民緑花オープン講座実施

名 称	月 日	内 容	人数 (人)
県民緑花オープン講座 (第1～17回開催)	6 / 2 (土)	プロから学ぶ初夏の寄せ植えづくり、ハーバリウムづくり、屋外で楽しむ観葉植物「クロトン」の寄せ植え、庭木に利用する樹種の特徴と管理、多肉植物のミニチュアガーデン、プロから学ぶ秋の寄せ植えづくり、スイセンと秋植え球根の寄せ植え、雪吊の基礎を学ぶ実技講習、プロから学ぶガーデンシクラメンの寄せ植えづくり、プリザーブドフラワーアレンジメント「クリスマスリース」、プリザーブドフラワーアレンジメント「お正月」、お正月の寄せ植えづくり、フラワーアレンジメント「お正月」(器付)、フラワーアレンジメント「お正月」(器持参)、プロから学ぶ早春の寄せ植えづくり、プロから学ぶクリスマスローズの育て方、花壇・畑の土づくりについての講座を行った。 [全17回]	407
	6 / 23 (土)		
	6 / 30 (土)		
	7 / 7 (土)		
	9 / 1 (土)		
	10 / 6 (土)		
	10 / 27 (土)		
	11 / 10 (土)		
	11 / 17 (土)		
	11 / 24 (土)		
	12 / 8 (土)		
	12 / 15 (土)		
	12 / 23 (日祝)		
	12 / 23 (日祝)		
	2 / 2 (土)		
	2 / 9 (土)		
	3 / 9 (土)		

④ スイセンほ場の管理

現在の保存品種220品種について、形質を良好な状態で維持・管理した。4月上旬からの開花期には見ごろ看板を設置し、来園者を開花中のほ場へ誘導してスイセンの魅力をPRした。

⑤ 立体花壇及びモデル花壇、バラ花壇等管理

立体花壇(正面入り口:ウォール)の図柄について、4～6月はビオラを使い砺波市のマスコットキャラクター「チューリくん」と「リップちゃん」を、7月～11月にはベコニアでハートを描いた。

モデル花壇では、とやま鉢花組合で生産された花苗を植栽し良好に管理した。

バラ花壇では50品種のバラを維持管理して、5月下旬～6月上旬及び10月下旬～11月中旬の開花時期にはテレビや新聞に取り上げられ多数の来園者があった。

⑥ 展示温室の管理

年間を通じ亜熱帯性植物や洋ラン類を良好な状態で維持管理して展示した。

⑦ 富山県花総合センター利用者増への取組

花まつり等イベントや季節展示、花の見頃情報、講座の募集についてのPRをチューリップ四季彩館と一体的に行ったほか、広報となみやリップちゃんのブログ、ホームページを活用し相互の連携を図るとともに、ポスターやチラシを配布した。また、イベント開催を案内する看板やのぼり旗を設置しPRを行った。

花まつりの開催中に実施した寄せ植え体験コーナーやとやま鉢花生産者組合青年部による花苗の販売が来園者に好評であった。

花まつり以外の期間も季節感のある展示テーマを設け、季節展示を展示ホールにて行った。

⑧ 施設設備の維持管理

管理棟空調修繕、展示温室暖房用配管修繕、園内東側東屋修繕などの修繕を実施した。

3 公益目的事業3

(1) となみ散居村ミュージアムの管理・運営

① 施設・設備の管理・運営

指定管理者として、ミュージアムの施設管理を適正に実施した。敷地内の美化について、樹木防除2回、全面除草4回（県職退職者会によるボランティア含む。）を委託のうえ、除草、樹木剪定・防除を職員で適時実施した。施設・設備の修繕、部品取換えを適切に実施した。

展示物又は散居村等に対する学習・見学について、大学ゼミ、小学校等の教育機関又は生涯学習団体等の要望により対応した。博物館類似施設としてレファレンス業務に対応した。

散居景観の保全活動等について、屋敷林枝打ち研修会や屋敷林植付け研修会を開催した。

社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業について9名の中学生を受入れた。

受託事業である空き家利活用事業及び砺波散村地域研究所活動業務を適切に執行した。

となみ野田園空間博物館推進協議会事務局及び全国散居村連絡協議会業務を担った。

施設利用状況

区 分	利用 者 数		利用 対 比 H30/H29
	平成30年度	平成29年度	
情報館・交流館・伝統館	27,673 人	27,495 人	100%
民具館	4,111 人	4,326 人	95%
合 計	31,784 人	31,821 人	100%

② 展示・施設利用

ア 企画展示等

名 称	期 間 (日数)	内 容	人 数 (人)
情報館	4/1(日) ～ 3/31(日)	エントランスで散居村に関する写真展などを随時開催	21,558
民具館	4/1(日) ～ 7/1(日)	第38回企画展 切って描く世界 「山本征世の切り絵」 …こころに留まる、感じる。考える。…	1,498
	7/7(土) ～ 11/25(日)	第39回企画展 こころ届ける絵手紙展 二永由美子とサークルはな椿	1,338
	12/1(土) ～ 3/3(日)	第40回企画展 ウイーンの伝統刺繍プチポアンと創作 人形展 鶺鴒文代の世界観	972
	3/9(土) ～ 3/31(土)	第41回企画展(会期中) 今井準子 日本画展 ～ふるさとの うつろい～	259
	[表彰式] 4/22(日)	第18回となみ野フォトコンテスト表彰式	5,126
	[展示] 4/20(金) ～ 5/29(火)	写真作品展示 (その後、あずまだち高瀬、いのくち椿館、イオンモールとなみ巡回展示)	

イ 常設展示

展示名	内容等
情報館	エントランス、ワクノウチにて散居村関係の情報を展示した。
民具館	生活・生産用具（国重文）を展示した。

- ③ となみ野田園空間博物館推進協議会の業務受託
担当者会議、幹事会、総会の開催をした。

ア 散居村学習講座

名称	期 日	内 容 等	人数（人）
第1回 学習講座	6/23(土)	「夜高行燈の魅力」 江戸川大学教授 阿南 透 先生 「となみ夜高まつりの紹介」 砺波市太郎丸児童クラブ	80
第2回 学習講座	7/21(土)	「庄川沿岸用水の変遷と水神様」 庄川沿岸用水土地改良区連合 常務理事 松岡 樹 氏	50
第3回 学習講座	7/28(土)	「散居村との関わりを学ぶ庄川上流域見学会」	30
第4回 学習講座	8/25(土)	「南砺市福光地域に見るお墓の諸相」 郷土研究家 加藤 享子 氏	50
第5回 学習講座	9/22(土)	「人の一生と祭事と餅菓子」 砺波市餅業組合代表 天野 一男 氏	65
第6回 学習講座	9/28(金)	「常願寺川流域に見る利水と治水の歴史・散居村の屋敷林」 立山カルデラ砂防博物館 専門学芸員 菊川 茂 氏 砺波カイニョ倶楽部 会員 柏樹 直樹 氏	52
第7回 学習講座	10/20(土)	「福光疎開時代の棟方志功とその住居の保存」 前砺波散村地域研究所 所員 堀越 勝 氏	50
第8回 学習講座	平成31年 3/9(土)	第1部 基調講演 「住み継がれる集落をつくるための 空き家の利活用」 和歌山大学准教授 佐久間 康富 氏 第2部 シンポジウム 「散居村と中心街～住み継がれるために～」 コーディネーター・パネリスト 5名	60
第9回 学習講座	平成31年 3/23(土)	神通川流域に見る利水と治水の歴史・散居村と 屋敷林&飛騨地方の伝統的建造物群地区」 地学研究者 神嶋 利夫 氏ほか	59

イ 学習資料の作成

「マエナガレ」クリアファイル

「砺波平野の散居村」リーフレット

「現代の名工による屋敷林剪定アドバイス」パネル

その他散居村啓発パネル等の作成

ウ 第12回デジカメ写真コンテスト及び写真展の実施 応募総数707点

(2市内小中学生対象)

エ 「あずまだち高瀬」「いのくち椿館」との連携事業を実施

第17回つばき展の開催等

④ 空き家利活用事業の業務受託

市企画調整課砺波暮らし推進班及び市内各地区と連携して、空き家情報の収集と、空き家所有者及び利活用希望者間の情報提供又は紹介業務を行った。相談件数108回

砺波市移住体験ツアー“子育て♪大満足・満腹編”(11/23～11/24)を実施し、県外から8名を受入れた。

ア 体験交流施設「佐々木邸」の管理及び利用者の受け入れ

利用期間	利用組数	利用人数
70日間	18組	60人

イ 第2のふるさと発見事業として、都市部の大学ゼミ活動の受け入れ

期間	大学ゼミ名	人数(人)
5/13(日)～14(月)	大阪樟蔭女子大学学芸学部 杉本教授ゼミ	3
6/9(土)～10(日)	富山大学人間発達科学部 (オランダ ライデン大学)	9
9/4(火)～7(金)	福岡女学院大学人文学部 二階堂教授ゼミ	9
9/11(火)～13(木)	関西学院大学総合政策学部 ヘファナン教授ゼミ	16
9/30(日)～10/1(月)	富山大学人文学部 中井教授ゼミ	12
11/6(火)～7(水)	富山大学 ブラジル富山県人会	3
1/17(木)～18(土)	富山大学人文学部 中井教授ゼミ	15
3/14(木)～16(土)	法政大学・早稲田大学 学生団体	5

⑤ 砺波散村地域研究所事業の業務受託

他研究機関と連携した散村に関する総合的な調査研究の実施

となみ野の景観資源の活用に向けた研究の実施

例会、見学会、小・中・高校生対象の地域学習講座などの開催（下記表を参照）

研究紀要第 36 号の刊行

大学等の研究機関又は生涯学習団体の研究学習活動に対する支援

名称	期 日	内 容 等	人 数 (人)
第 7 3 回例会	6 / 1 6 (土)	研究発表および講演を行った。 ○発表 ・「砺波平野における居住環境の変化」 ・「小矢部川上流 南砺市立野脇の用水史」 ・「“1 億円産地づくり”の砺波平野における展開」 ○講演 「散村地域と地域政策」 鳥取大学地域学部長・教授 藤井 正 氏	7 0
高校生対象 地域学習講座	8 / 2 (木)	・砺波平野（庄川扇状地）の利水、産業、防災	2 8
中学生対象 地域学習講座	8 / 3 (金)	・庄川の水利用と災害の歴史を通して 散村の 現状と防災を学ぶ	3 5
小学生対象 地域学習講座	8 / 5 (日)	・4年生親子で学ぶ散村 自由研究づくり	1 3
第 7 4 回 富山地学会 合同例会	1 1 / 2 5 (日)	研究発表および講演を行った。 ○発表 ・「南砺地方の惣山を巡る争論について」 ・「法蔵菩薩と地藏信仰―県西部の事例から―」 ・「砺波平野南部の土壌と防災」 ○講演 「和食 2000 年の歴史―交易がつくった和食―」 京都和食文化研究センター・特任教授 佐藤 洋一郎 氏	7 0

4 収益目的事業1（施設貸与事業）

施設貸与事業は、市民の文化・教養活動や福祉の増進、或は興行・商業宣伝等のために、砺波市民並びにその他の者に各施設を貸与し、利用者の利便を図った。

（1）砺波市文化会館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で大ホール、練習室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（2）砺波市文化会館施設管理運営事業 ① 施設利用状況のとおり

（2）砺波市砺波農村環境改善センター施設貸与事業

- ① 施設利用状況

施設名	区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
			30年度	29年度	利用対比 H30/H29	30年度	29年度	利用対比 H30/H29
改善センター	多目的 ホール	利用日数	日 211	日 213	% 99.1	人 49,848	人 52,769	% 94.5
		利用率	65	65	—			
	その他 (5部屋)	利用日数	883	874	101.0	17,016	16,154	105.3
		利用率	53	52	—			
	合 計	利用日数	1,094	1,087	100.6	66,864	68,923	97.0
		利用率	55	54	—			

（3）庄川水資料館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	30年度（人）	29年度（人）	備 考
映像ホール	0	0	

（4）庄川生涯学習センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で多目的ホール、研修室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（9）庄川生涯学習センター施設貸与事業 ① 施設利用状況のとおり

（5）チューリップ四季彩館施設貸与事業

- ① 公益目的以外でホールの施設の貸与を行った。
1 公益目的事業2（3）チューリップ四季彩館の管理運営事業 ① 施設の管理、施設利用状況のとおり

（6）富山県花総合センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で研修室等の施設の貸与を行った。

(7) となみ散居村ミュージアム事業

① 公益目的以外で交流館等の利用スペースの貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	30 年度 (人)	29 年度 (人)	備 考
研修室ほか	8,868	7,636	

5 収益目的事業2 (付帯事業)

付帯事業は、市民の教養や福祉の増進、あるいは美術資料の収集のためにサービスを提供し、もって利用者の利便を図った。

(1) 砺波市文化会館付帯事業

① 砺波市文化会館ホールメイト事業は、会員登録を行うことにより、砺波市文化会館事業のチケットを、通常より2週間早くまた5パーセント引きで購入できる先行販売の特典があるサービスを行った。

また、他施設の公演チケットの受託販売及び施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(2) 庄川生涯学習センター付帯事業

① 施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(3) 砺波市美術館図録販売等事業

① 美術展図録、ミュージアムショップでのポスター等の販売及び他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(4) 庄川美術館図録販売事業

① 美術展図録及び、他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(5) 水資料館付帯事業

① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。

② ポストカード等の販売を行った。

(6) チューリップ四季彩館付帯事業

① 花苗及び緑化に関する製品・記念品等の販売を行った。

(7) 富山県花総合センター付帯事業

① 花苗や花鉢の販売を行った。

(8) となみ散居村ミュージアム付帯事業

① 散居村等に関する書籍及び物販品の販売を行った。

6 評議員会の開催状況

- 第14回評議員会 平成30年6月18日(月)午前10時～ 砺波市文化会館 研修室
 - 議案第1号 平成29年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告について
 - 議案第2号 平成29年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団収支決算について
監査報告
 - 議案第3号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団評議員の選任について
 - 議案第4号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団理事の選任について
 - 報告第1号 専決処分の報告について
専決処分第1号
平成29年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団補正予算(第2号)
 - 報 告 平成30年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業計画について
平成30年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団収支予算について

7 理事会の開催状況

- 第20回理事会 平成30年5月29日(火)午前10時～ 砺波市文化会館 研修室
 - 議案第7号 平成29年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告について
 - 議案第8号 平成29年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団収支決算について
監査報告
 - 議案第9号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団評議員候補者の推薦について
 - 議案第10号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団理事候補者の推薦について
 - 議案第11号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団第14回評議員会の招集について
- 第21回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日 平成30年6月17日(日)
 - 議案第12号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団理事候補者の推薦について
- 第22回理事会 平成30年8月31日(金)午前10時～ 砺波市文化会館 研修室
 - 議案第13号 第68回砺波チューリップフェア開催基本計画について
 - 議案第14号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団職員被服貸与規程の制定について
 - 報告第1号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団業務執行理事の職務の報告について
- 第23回理事会 平成31年2月14日(木)午前10時～ 砺波市文化会館 研修室
 - 議案第1号 令和元年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業計画について
 - 議案第2号 令和元年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団収支予算について
 - 議案第3号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団特定費用準備資金保有にかかる事業
計画について
 - 議案第4号 平成30年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団補正予算(第1号)につ
いて
 - 議案第5号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団嘱託職員等就業規則の一部改正につ
いて
 - 報告第1号 公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団業務執行理事の職務の報告について

8 監査会の開催状況

- 監査会 平成30年5月21日(月)午前11時～ 砺波市文化会館 研修室
 - 平成29年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告
 - 平成29年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団収支決算
- 中間監査会 平成30年10月30日(火)午前10時～ 砺波市文化会館 研修室
 - 平成30年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告(4月～9月)
 - 平成30年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団収支決算(4月～9月)